令和8年度外部評価　質問票

施策7　暮らしやすい住環境の形成（担当：西出委員）

質問No.	事務事業名等 （プルダウンメニューより選択）	質問内容	
1	ユニバーサルデザインのまちづくり推進	委員記入欄	「区内鉄道駅のホームドア整備率」は活動指標なのではないか？
		所管課回答欄	本事業について区（都市整備部管理課）は、区の関係所管や交通事業者などに対し、バリアフリー推進連絡会の開催などを通じてバリアフリー化の推進を働きかける立場です。このため「区の」活動指標としてバリアフリー推進連絡会等の開催回数を掲げ、その成果の一部として各鉄道事業者によるホームドアの整備率を取り上げ、これを成果指標として掲載しております。
2	ユニバーサルデザインのまちづくり推進	委員記入欄	「杉並区バリアフリー推進連絡会等の開催回数」と「ホームドア整備率アップ」の因果的連鎖関係がわからない。
		所管課回答欄	杉並区バリアフリー推進連絡会には鉄道事業者も委員として参加しており、ホームドア整備をバリアフリー基本構想に基づく特定事業として位置付け、その進捗状況を継続的に確認しています。開催回数と整備率が直接的に連動するものではありませんが、連絡会におけるホームドア整備の事例共有や各事業者の進捗確認が整備促進の一つの要素となり、ホームドア整備率の向上につながったものと考えています。
3	景観まちづくり	委員記入欄	令和7年度事業実績額8014千円の内訳が知りたい。
		所管課回答欄	別添「令和7年度歳出決算額」をご覧ください。

質問No.	事務事業名等 （プルダウンメニューより選択）	質問内容	
4	景観まちづくり	委員記入欄	事業費の執行率が例年低い。理由は何か？
		所管課回答欄	主に需用費と委託料に執行残が発生しています。 荻外荘関連の寄附金積み立ての取組として、令和4年度から「荻外荘オリジナルグッズ」販売を行っています（全売上げを「杉並区みどりの基金」に積み立て、荻外荘に活用）。オリジナルグッズ購入費については、物価変動や販売需要の増減に対応するため一定の余裕を見込んで予算計上していますが、実績に応じて仕入数量を調整した結果、執行残が生じています。また、委託料については、事業内容の精査や仕様変更による経費縮減、契約差金等により執行残が生じました。 令和7年度においては、景観計画の発行について、ページ数減及び落差金により執行残が生じました。
5	区営住宅の住環境整備	委員記入欄	修繕を要する住宅戸数を知りたい。
		所管課回答欄	大規模修繕（屋上防水・外壁・手すり改修等）は「杉並区長寿命化計画」の修繕計画により、毎年度、1～3団地程度を実施しています。また、共用部、居室内LED化を9年度から4年間（毎年度8～9団地）で実施します。その他、団地共用部、居室内等に不具合が生じた場合はその都度、修繕を行います。

質問No.	事務事業名等 （プルダウンメニューより選択）	質問内容	
6	高齢者住宅の提供	委員記入欄	民間物件の高齢者（緊急ではなく、保証人を用意できない）への賃貸問題について、現状を知りたい。
		所管課回答欄	高齢者住宅「みどりの里」については、入居希望者が多く、すべての希望者が入居できていない状況です。しかしながら、新たにみどりの里を整備することについては、用地の確保が困難であることに加え、建設費や維持管理費など多額の経費を要することから、現状では難しい状況です。 このように、高齢化の進展に伴い増加する居住支援ニーズに対して、公営住宅や高齢者住宅のみで対応することは困難であるため、区としては、民間賃貸住宅ストックを活用した居住支援を進めることが重要であると考えています。区では、居住支援協議会や居住支援法人等と連携し、高齢者をはじめとする住宅確保要配慮者に対して、民間賃貸住宅への入居相談や物件紹介を行うとともに、住宅セーフティネット制度の普及啓発やセーフティネット専用住宅の登録促進などに取り組んでいます。 高齢者の民間賃貸住宅への入居については、近年、親族等の連帯保証人を求めるケースは減少しており、家賃債務保証会社の利用や緊急連絡先の確保を条件として契約することが一般的となっています。一方で、親族との関係が希薄であるなどの理由により、緊急連絡先を確保できず、入居が困難となる高齢者も存在します。このような場合には、区や居住支援協議会を通じて居住支援法人を紹介し、緊急連絡先の確保や見守り支援等につなげることで入居を支援しています。
7	マンションの適正な管理	委員記入欄	相談者への事後アンケート調査を実施しているのであれば、その結果を知りたい。
		所管課回答欄	現在はアンケートなど実施しておりませんが、今後、調査後のマンションの状況を把握し、管理不全なマンションの改善に向けた効果的な取組等について検討していく予定です。